

【参考：奨学金貸与規程 一部改定 新旧対照表】

新	旧	備考
<p>第1条～第3条（略）</p> <p>（奨学金額および貸与期間）</p> <p>第4条 奨学金は月額4万円とする。ただし、毎学年度4月と10月に、留年者・休学者を除く奨学生に、書籍代としてそれぞれ<u>6万円</u>を加算する。</p> <p>（奨学生採用方法）</p> <p>第5条 奨学生希望者は、連帯保証人<u>の同意を得たうえで、募集要項に記載された「奨学生願書」、「奨学生選考調書」その他必要書類および情報を、書面または電磁的方法により</u>本会事務局へ提出し、選考委員会の選考を経て理事会において決定するものとする。</p> <p>2 連帯保証人は、本人が未成年の場合はその保護者（親権を行なう者、また後見人をいう）、成年者の場合は、父母兄弟またはこれに代る者でなければならない。</p> <p>第6条～第10条（略）</p> <p>第11条（奨学金の返還）</p> <p>会員は奨学金の交付を終了した月の翌月から起算して6カ月を経過した後、15年以内に奨学金を返還しなければならない。ただし、第4条第1項に規定した書籍代は返還を要しない。</p> <p>2・3（略）</p> <p><u>4 会員を雇用する企業等の第三者が、奨学金の返還残額の全部または一部を、会員に代わって返還することを認めることがある。</u></p>	<p>第1条～第3条（略）</p> <p>（奨学金額および貸与期間）</p> <p>第4条 奨学金は月額4万円とする。ただし、毎学年度4月と10月に、留年者・休学者を除く奨学生に、書籍代としてそれぞれ<u>1万円</u>を加算する。</p> <p>（奨学生採用方法）</p> <p>第5条 奨学生希望者は、連帯保証人<u>と連署した本会あての「奨学生願書（第1号様式）」、「奨学生選考調書（第2号様式）」</u>学校長の推薦書、成績証明書、健康診断書、写真及びテーマ論文を本会事務局へ提出し、選考委員会の選考を経て理事会において決定するものとする。</p> <p>2 連帯保証人は、本人が未成年の場合はその保護者（親権を行なう者、また後見人をいう）、成年者の場合は、父母兄弟またはこれに代る者でなければならない。</p> <p>第6条～第10条（略）</p> <p>第11条（奨学金の返還）</p> <p>会員は奨学金の交付を終了した月の翌月から起算して6カ月を経過した後、15年以内に奨学金を返還しなければならない。ただし、第4条第1項に規定した書籍代は返還を要しない。</p> <p>2・3（略）</p>	<p></p> <p>（変更）</p> <p>（変更）</p> <p></p> <p>（追加）</p>

新	旧	備考
<p>第 12 条（略）</p> <p>（附則）（略）</p> <p>附則 2 この奨学金貸与規定は、平成 26 年 3 月 18 日から施行する。</p> <p><u>附則（令和 7 年度第 2 回臨時理事会議決）</u></p> <p><u>1 この規程は、令和 7 年 11 月 14 日から施行する。</u></p> <p><u>2 但し、第 5 条第 1 項については令和 8 年度新奨学生の採用の時から、第 11 条第 4 項については令和 8 年 4 月 1 日から適用する。</u></p> <p>承認 平成 21. 10. 1</p> <p>改定 平成 23 5. 14</p> <p>改定 平成 24. 3. 22</p> <p>改定 平成 26 3. 18</p> <p>字句訂正 令和 3. 3. 10</p> <p><u>改定 令和 7 11. 14</u></p>	<p>第 12 条（略）</p> <p>（附則）（略）</p> <p>附則 2 この奨学金貸与規定は、平成 26 年 3 月 18 日から施行する。</p> <p>承認 平成 21. 10. 1</p> <p>改定 平成 23 5. 14</p> <p>改定 平成 24. 3. 22</p> <p>改定 平成 26 3. 18</p> <p>字句訂正 令和 3. 3. 10</p>	<p>（追加）</p> <p>（追加）</p>